

国語科学習指導案

日 時：10月20日（火）5校時

授 業 者：石毛 信明

展開学級：3年D組

展開場所：3年D組教室

1 単元名 視点を変えて物語を読もう ―「故郷」のリライトを通して―

2 単元の目標

(1) 情景や人物の描写からリライトに必要な登場人物の状況や心情を読み取ろうとしている。

【国語への関心・意欲・態度】

(2) 視点を変えて情景や人物の描写を読むことで、人物の状況や心情を理解することができる。

【読む能力（1）イ】

(3) 情景や人物の描写に用いられる語句や表現に着目することができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項（1）イ（イ）】

3 評価基準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	伝統的な言語文化と 国語の特質に関する事項
情景や人物の描写から登場人物の状況や心情を読み取ろうとし、リライトに生かそうとしている。	視点を変えて情景や人物の描写を読むことで、心情の理解を深めている（1）イ	情景や人物の描写に用いられる語句や表現に着目し、理解に役立てている。（1）イ（イ）

4 単元について

(1) 単元を貫く言語活動と教材

本単元では、登場人物の心情をより深く理解し、作品の読みを深めるために、他の登場人物の視点に立ったリライトを行う。リライトは、原文の読書行為を踏まえて、ある目的のために創造的に原文を書き換える言語活動である。登場人物の心情をより理解するためには、その人物がどのような状況におかれ、どのような様子で、どのような考えなのかを、相手の立場に立って考えることが重要であると考え。そこで今回は、作品の主人公を変えてリライトするという言語活動を行い、ルントウから見た「私」を考えることで、より深く登場人物の心情を理解できるようにしたい。そして、それぞれが書いた文章を班内で読みあい交流することで、また違った視点から作品を読むことができるようにしたい。

「故郷」は魯迅による近代中国文学の代表的作品であり、教科書にも長く掲載され多くの人に親しまれている。時の流れによって生じた、かつての故郷の人々と主人公との関係の変化と移り変わる心情とを描いた作品である。しかし、ただ一読しただけではなぜ主人公がルントウとの再会に衝撃を受けたのかといった点が理解しづらい。そこで今回は、リライトという言語活動を通して、登場人物たちの心情に寄り添うことができる授業としたいと考えた。

(2) 単元で身に付けさせたい力

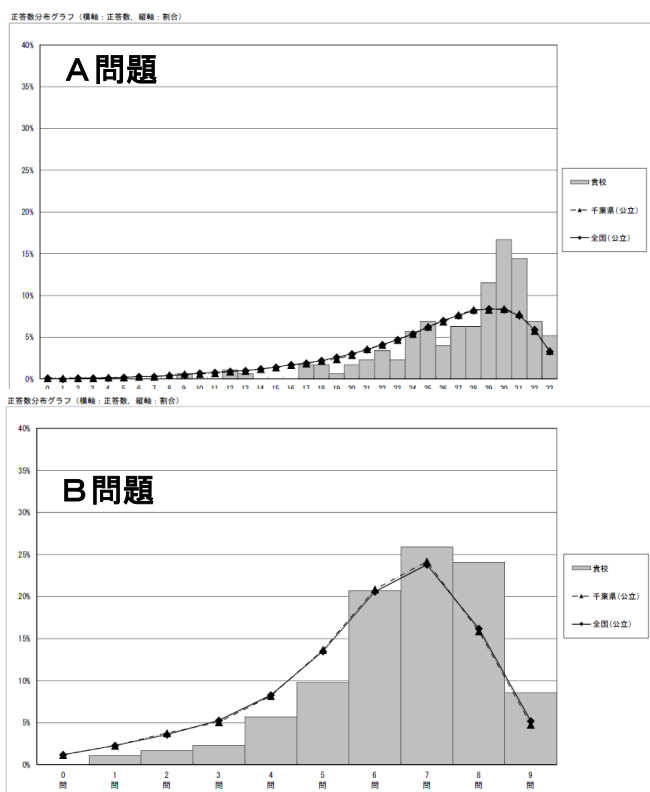
本単元での身に付けさせたい能力は、学習指導要領の「C. 読むこと」のうち「イ. 文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること」である。具体的には、登場人物の表現や情景描写からその人物の置かれた状況や心情を考え、作品の視点を変えてリライトするという作業を通して、登場人物の心情をより深く読み取る力を身に付けさせたい。

(3) (1) (2) の基盤となる言語環境や継続的な取組

本校では毎日の朝読書に加え、図書委員会の活動として、クラスごとの読書冊数を調べ学期末に表彰したり、図書委員会がお勧めの本を紹介したりと読書活動の推進運動が活発である。

また、一年生での「少年の日の思い出」におけるエーミールの人物像をとらえる学習、二年生での「走れメロス」におけるメロスの人物像をとらえる学習等を通して、文学作品の登場人物が必ずしも語られた一面のみを持つわけではない、といったことを学習している。

5 児童生徒の実態（指導の経緯）



平成27年度全国学力状況調査においては、本校の3年生の平均正答率はA問題が83.1%(+7.3)、B問題が73.2%(+7.4)という結果であった。(()内は全国平均との比較) A問題、B問題ともに全国平均、県平均と比較しても高い正答率であり、学習内容の定着がうかがえる。

だがその一方で、B問題の2の三「資料を参考にして2020年の日本の社会を予想し、その社会にどのように関わっていききたいか、自分の考えを書く」の正答率は29.9%、3の三「文章の最後の一文があった方がよいかどうかについて、話の展開を取り上げて自分の考えを書く」では46.0%となっており、複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書くことや、文章の構成や展開などを踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを書く

ことなどは、やや苦手としていることがうかがえる。そこで今回は、リライトという言語活動を行う中で、これらの読む力を身に付けさせていきたい。

6 単元の指導計画

時	学習活動	指導や支援の手立て ◇評価
事前	○朝読書の時間を使い、作品を一度通読しておく。	・一週間ほど時間を取り、読む時間を確保する。
1	○教師の話聞き單元についての見通しを持つ ○別作品のリライトしたものを提示し、リライトについて理解する。 ・「故郷」を他の登場人物の視点からリライトするという見通しを持つ。 ○簡単なリライトに取り組む。	・「走れメロス」のリライトを提示し、リライトという言語活動について説明する。 ・作品を他の登場人物の視点から見ることで、より深く心情を読みとることができることを説明する。 ◇リライトの方法を知り、今後の学習に役立てようとしている。(感)
2 ・ 3	○作品を通読し、人物関係をワークシートにまとめる。 ・主人公と人物の関係について ・ルントウの様子の変化 ・主人公の受けた印象	・作品をリライトするという目的意識を持って通読させる。 ◇リライトに必要な情報を読み取り、ワークシートにまとめることが出来ている。(読む)
4 ・ 5	○ルントウとの再会の場面をルントウの視点から200字～400字程度でリライトする。 【リライトする際の注意点】 ①ルントウの現状やルントウの視点から見た「私」の様子を踏まえて書く。 ②本文中の台詞を必ず一つ用いる。 ③なぜそのように書いたのかという根拠を明確にする。	・前時までの授業を参考に、ルントウから見た再会した「私」像とそのときの心情を描くことを伝える。 ◇視点を変えて情景や人物の描写を読むことで、人物の状況や心情を理解することができる。(読む) ◇情景や人物の描写に用いられる語句や表現に着目し、リライトに役立てている。(伝国)
6 (本時)	○リライトした文章を班で互いに読みあい、交流する。 ・読み取ったことが根拠を持って書けている箇所に付箋を貼り、感想を書く。 ○自分のリライトした文章を推敲する。 ・交流を通して読んだ班員のリライトや、もらった付箋を参考に、自分のリライトを推敲する。 ○単元を振り返り、人物の状況が心情の読みを深めることができたかを確認する。	◇班員がリライトした文章を読み、人物の状況や心情の理解に役立てようとしている。(関) ◇班員がリライトした文章を読み、読み取ったことが反映された箇所を見つけることができる。(読) ◇交流を通して人物の状況や心情の読みを深めることができる。(読)

7 本時の目標と展開

(1) 本時の目標

- ◇班員がリライトした文章を読み、人物の状況や心情の理解に役立てようとしている。(関心・意欲・態度)
- ◇班員がリライトした文章を読み、読み取ったことがリライトに反映された箇所を見つけることができる。(読む能力)
- ◇交流を通して人物の状況や心情の読みを深めることができる。(読む能力)

(2) 本時の展開

	学習内容と活動	指導や支援の手立て ◇評価
導入	○前時までの確認と本時の活動内容を知る。	
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> リライトした文章を読み合い、作品の読みを深めよう。 </div>	
	<p>○リライトした文章を班で互いに読みあい、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4人班の班員がリライトした文章を回し読みし、各自で読む時間を確保する。 ・読み取ったことが根拠を持って書けている箇所に付箋を貼り、感想を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容だけでなく、読み取ったことが根拠となっている箇所に注目させる。 ・表現の良し悪しではなく、本文から読み取ったことが書けている箇所に注目し、感想を書くよう指示する。 (例：この表現から、～ということがわかった) <p>◇班員がリライトした文章を読み、人物の状況や心情の理解に役立てようとしている。(関心・意欲・態度)</p> <p>◇班員がリライトした文章を読み、読み取ったことが根拠を持って書けている箇所を見つけることができる。(読む能力)</p>
	<p>○自分のリライトした文章を推敲する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流を通して読んだ班員のリライトや、もらった付箋を参考に、自分のリライトを推敲する。 ・リライトを推敲する際には別の付箋を用いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この時間にリライトの文章をそのまま書くことが難しい生徒には、推敲の方向性(どのように直したいか)を書くよう指示する。 ・必要な場合は班員のリライトした文章をもう一度見たり、班員のコメントの説明を受けたりすることで推敲に生かすよう指示する。 <p>◇交流を通して人物の状況や心情の読みを深め、自分のリライトに生かすことができる。(読む能力)</p>
まとめ	<p>○推敲した部分を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表を通してリライトの変化を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流を通してリライトがどのように変化したかを発表させ、読みの深まりを共有させる。